

(会議録)

令和元年度 第2回 嬉野市立図書館協議会

令和2年2月21日(金) 15時～  
於 嬉野市立嬉野図書館2階会議室

1. 開 会
2. 教育長挨拶
3. 議 題

会 長 それでは、議題1) 令和元年度事業報告について 事務局をお願いします。

1) 令和元年度事業報告について

事務局 (レジュメP. 1～2) 令和元年度 嬉野市立図書館事業報告

令和元年度2月までの実績報告、各協議会における研修会について行われた内容について。嬉野・塩田各館から職員が研修に参加。

蔵書点検及びシステム更新について。通常、嬉野館・塩田館で日程をずらして行っていたが今年度システム更新もあった為、両館同時に11月18日から26日までの9日間の日程で行った。選定は公募型プロポーザル方式で、当協議会会長にも選定委員になっていただき、令和元年9月24日に審査会を開催し業者を選定。

今回システム更新が行われたことにより、読書活動推進機能がアップ。HPから利用登録をしていただくと、「MY本棚」機能として自分のPCやスマホから、自分の貸出履歴等が確認できるようになった。「読書マラソン」機能は、自分で読書目標を設定し、その達成度がイラストでわかりやすく表示されるようになった。利用者の読書意欲を推進するこの新機能をぜひ市民の方に広く知っていただきたく、資料にもつけているが、「嬉野図書館WEB利用のすすめ」のチラシ(PC版、スマホ版)、図書館だより1月号、小学校低学年、高学年、中学生向けの図書館つうしん2月号、市立図書館のHP、ツイッターでの広報・紹介、カウンター窓口でチラシの配布等を行った。

次に大きなものとして10月の嬉野市読書活動推進月間のイベント、10月12日に「第7回佐賀うちどくフェスティバルIN嬉野」を塩田のリバティで開催。資料にイベントチラシとアンケート結果を添付。準備委員会、実行委員会と回を重ね、図書館協議会の委員にもご協力をいただいた。地元の小学校やおはなしボランティア団体の実践発表、児童文学作家くすのきしげのり氏の講演には、のべ250名の参加があった。終了後のアンケートでは、40代の参加が23.1%と最多、内容については「大変満足だった」というご意見が84.6%で最多。個々の感想については別添資料に載せているが、特に実践発表について地元のボランティア団体の方々や地元の小学校が地道に活動をされてきたことが、広く市民の皆様にも周知されたことが良かったと思う。

(レジュメP. 3～4) 両館のおはなし会等の実績についてはレジュメ記載のとおり。ほか、特集コーナーを嬉野図書館は常時15コーナー、塩田図書館も7コーナーほど設置しておりますが、今年度特集コーナーの充実を図るため、新たに「コーナーコラボ企

画」を実施。(資料 令和元年度コーナーコラボ実績)

これは、庁舎内の他の課に呼びかけをして依頼のあった案件について本を集め、コーナーの展示を嬉野・塩田両図書館内に設置し、来館者にそのテーマについての知識や理解を深めてもらう、また依頼元の課には、図書館で特集コーナー展示中という案内板を設置して、その課や庁舎に来られた市民の方に興味を持ってもらい図書館へ足を運んでもらうという相乗効果を得ることができた。

会 長 ただいまの報告について、ご質問等ありましたらどうぞ。

A委員 質問はありませんが、とにかく頑張っていたと思います。

会 長 一つだけ質問を。「WEB利用のすすめ」について、登録された人数とかは分かかりますか？

事務局 業者にも確認したが、個人情報の問題もあり利用状況は数値としては見えないということでした。

A委員 利用者側は、自分の借りた本は図書館側は分からない、というのは分かる訳ですね。

事務局 利用登録の承認の際には、ご自分の利用者カードの番号とパスワードが必要ですので、本人しか見ることができないようになっています。

会 長 他にございませんか。ないようですので次に移ります。2)令和2年度事業計画(案)について、事務局、お願いします。

事務局 説明の前にすみません、レジュメの訂正をお願いいたします。レジュメP. 6 嬉野図書館行事一番上の段、「春の読書まつり」について4月18日(土)としておりますが、4月25日(土)の間違いです。訂正をお願いします。

(レジュメP. 5) 研修会等について、来年度も例年どおりの回数が予定されている。内容についてはまだ未定だが、今年度と同じく参加予定。

(レジュメP. 6) 各館のおはなし会についてもほぼ例年通りを予定。引き続き読み聞かせボランティア団体様と連携、ご協力をいただきながら効率的な事業の運営を行っていきたいと思っている。

会 長 令和2年度事業計画(案)について何かございませんでしょうか。

B委員 うちどくフェスティバルのアンケート結果を見ていたのですが、図書館自体に来る人が少ないという印象ではあるが、各学校で熱心に読み聞かせをしていただいているので子どもたちはたくさん本に触れていると思う。巡回図書もあり、小さい頃から本に触れていて見た目よりは浸透している市だと感じますので、ぜひこれからもボランティア含め学校や園へのバックアップを積極的にしていただけたらと思います。

会 長 よろしくお願いします。他にありませんでしょうか。

読書会支援についてですが、嬉野図書館は「ほほん読書会」となっていますが、「ほほん」で間違いないでしょうか。普通「のほほん」では。

事務局 すみません、頭に「嬉野」がついて「嬉野ほほん読書会」です。「嬉野」の「野」と「のほほん」の「の」が重なった「嬉野ほほん読書会」です。

B委員 読書会のことについて。嬉野の読書会はこの図書館でされていますか。

事務局 図書館の2階談話室でされています。

B委員 塩田の読書会が、前塩田図書館内の会議室でされていたようですが、今、市史編纂室が使用されていると聞いた。やっぱり読書会は図書館の中がいいと思いますが。

教育長 今年度から市史編纂室が教育委員会部局になりました。図書館2階の会議室に入っています。

B委員 できれば読書会は図書館の中がいいなと思った次第です。

教育長 今は公民館でされています。他の会議も公民館でされているようですので・・・。

会 長 市史編纂もまだ少し時間がかかるようです。終われば部屋は空くと思いますが。他にございませんでしょうか。 それでは、令和2年度も例年と同じような事業計画で進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。 それでは、3) 令和2年度読書活動推進月間イベントについてお願いいたします。

事務局 それでは 3) 令和2年度読書活動推進月間イベントについて説明いたします。教育長の話にもありましたけれども、今年度の「第7回佐賀うちどくフェスティバルIN嬉野」は、伊万里の佐賀うちどくネットワーク事務局と一緒にいき大きなイベントになりましたが、令和2年度の内容については、まだ未定の状態でございます。

10月の読書活動推進月間は、平成29年度にできました「嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例」によります。今後の展開につきましては、この条例の中にありますように「市」及び「家庭」、「地域」、「学校」一体となって取組を行っていきけるよう、図書館のみでなく嬉野市全体で読書活動の推進を考えていく必要があると考えます。令和2年度で3回目を迎える読書活動推進月間イベントについて、委員の皆様のご意見、お考えをいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

会 長 読書活動推進月間のイベントで委員の皆さんが、こういうことをしてほしいというようなことがございましたら、案を出していただけたらと思ひます。予算に対してですので全てが出来るということではないでしょうけども、案がございましたらどうぞ。

教育長 先程B委員も仰ったように、子ども達は結構本を読んでいます。読書量もありますし、文部大臣表彰あたりも嬉野市内あちこちで頂いてます。昨年は轟小がもらいました。その前は五町田小がもらいました。巡回・配本もしてもらってますので。なのでこの条例からいけば、大人の読書量が非常に少ないと思ひますし、嬉野図書館と塩田図書館で見れば、嬉野は割と大人が多いですが、塩田は非常に少ないというのも大きな特徴です。そういうことからすれば、大人を対象にする何かがないかなど。そういうのも1つの方法としてはあります。この前のくすのき先生の講演のアンケートにも、読書は大人になってもしないといけないとか、大人も絵本を読まないといけないと思ひた等の感想がありました。(読書は)子どもの時ばかりではないということが書いてあるので、そのあたりで何か。 図書館の人員も少ないですし、市の職員だけで行うのはなかなか厳しい部分もあります。「嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例」では、まず最初に市民にアピールをする形の条例であると当時の議員が仰った記憶があります。教育委員会へもお尋ねがあった時に、学校では「朝読」等きっちりと読書指導をやっておりま

すので、学校は必要ないですとのお話をしたのですが、結局今のところ子どもたちを対象に進んでいる状態が続いているものですから。何年かに1回は大人対象も必要ではないかなと感じがします。(参加は)最初は少なくともいいので。

B委員 うちどくフェスティバルは大々的に動員をかけてもらって、でも良かったとすごく言ってもらえた。PTAで参加のお父さんたちが来られて、なかなか普段来ない人達が参加をされて、列に並んでいるのを見た時に良かったなと思いました。私も読み聞かせを長くやっております。行事を最初にやった頃は、それこそ7~80人集まったりしていた。その頃は読み聞かせやビデオ等は普及していない時代だったので、そういうのがすごく必要だったと思うのですが、今各学校で読み聞かせをされていて、家でも読み聞かせをされるご家族の方が増えて、時代がひとつ過ぎたなという感じがする。行事も一つ縮小したのがある。たくさんの人の手を煩わせる割には、人が集まらない。

人をたくさん集めてする行事の限界というか、もういいのかなと感じた。学校や家庭で直接子どもと話していつているので、もう(行事を)大きくするのは、いいのかなと思った次第でした。小さな図書館なりの、学校配本の充実等の方が直接子どもたちに伝わっていいのかなと思った。それと、くすのき先生の本等は子育て中のお父さんお母さんに読んでもらいたい本の紹介ですごく良かったので、大人・老人向けの読み聞かせとして各地区の老人会の集まりで読む等でもいいのかなと思う。大きくなくていいので。

A委員 定例の読み聞かせを午後からやっていましたが、小学生以下の子ども達は午後は少ない。塾やお稽古事等が土曜日にある。統計を取っていただいたが午後からは子どもが少ないので、来年度4月からは午前中に変更しようと考えている。

B委員 私たちも以前午後からしていましたが、午後からは出かけられたりするので午前に変更しました。地道にしていますがたくさん集めるとなると・・・。

A委員 すごく少ないです。

B委員 各小学校、各園、読み聞かせ等もされているようなので、もう何か行事をするということではないのではないかなと思う。何年かに一度は大きな行事をして、気付くこともあると思います。

A委員 嬉野図書館は、低予算だと思うのですがレイアウトや本の配置、掲示物等もいつも一生懸命工夫されていて、来館者に優しい、子ども達に楽しいことをしてもらっている。小さい時に何度も図書館を利用したことがある子ども達は、大人になっても図書館に足が向くと思いますので、子どもたちにもっと利用してほしいです。

B委員 大きなイベントではなく、今からはまた小さなイベントとしてしようかなと思ってます。一時代が終わったかな、と。人をたくさん集めてするのは・・・。一大イベントを、みんながする割には子どもたちが少なくて。子ども達も忙しい。一区切りとしてまた考えていいかなということで、一区切りしました。条例が出来たときにもう既に条例どおりにしていますね、という感はあったですよ。

会 長 これはイベントを何かしなくちゃいけないということなのですか？

教育長 何をしないといけないとか、どこがしないといけないとかはこの条例では決まっていな

い。議会でも教育委員会、図書館ばかりがしないで、他の部局がしてもいいのではと申し上げましたが、なかなかそうはいかないだろうと思いつつながら言いました。平常業務として長く続けられるようなものでないといけないと思います。このままでいても他の部局は動かないと思って今回は当初予算で計上していますが、今度は子どもたちでなく大人を対象としたものでしてみてもいいのかなと思いつつ言いました。昨年うちどくフェスティバルをした中で子どものことだけでなく、大人も絵本を読まないといけないという意見もあったものですから。

C委員 嬉野市文化の香り高い読書のまち活動推進条例の第5条、「地域における取組」がありますが、地域コミュニティもありますので、そういうところとの連携もいいかなと思います。具体的なこういうことをしたらというのは今思いつかないのですが、小学校区でコミュニティは7つありますのでそこでまわしたりして会議の席ではかってもらって。事務局 コミュニティの代表者会議があつているので、その場に出席して（話を）することはできると思います。

D委員 実際問題として、コミュニティは今、防災訓練から何からでいっぱいいっぱいです。嬉野には女性ネットワーク等の団体もあるのですよね。

教育長 補助金としてそれを使ってもらう方法もある。青年団等もある。

D委員 10月が読書活動推進月間なので、予算をもらう上では何かしたいですよね。講座のようなものでもいいかなと私は思います。（他の）図書館ではよく篆刻とかもされているようだし。大人の読み聞かせと篆刻の講座とかを一緒にしてもいいのでは。

A委員 議員さんとか市の職員さんとかに読書マラソンに参加していただくとか。

事務局 職員向けにも市内LANに載せて広報し、使い方等も載せて説明はしています。

会長 議員さんにも頑張っていたいただかないといけないですね。

A委員 議員さんは図書館のご利用はされているのでしょうかね。

会長 条例制定の頃に思いましたのが、（条例を）出すためだけではなくて、自分たちがいかに読書と関わりがあつて、読書を市民に広げないといけないという思いがあられるのであれば、例えば議会だより等に「私のおすすめの本」のコーナーなどの記事があつてもいいのかなと思いつつ言いました。出せばそれで終わり、ではなくて議員さんたちにも頑張っていたいただきたいと思います。うちどくフェスティバルにももっとたくさんの議員さんに来ていただきたかった。

教育長 議会の中でもフェスティバルに来ていただくように言ったのですが。

会長が言われるように、議会だよりの中でも10月にはぜひ条例に基づいた議員の取組などを記事にさせていただきたい。1回目は白根先生をお招きして図書館の3階で行いました。2回目は昨年リバティでうちどくフェスティバルを行いました。今年が3回目でタイミングとして素地が出来てきましたので。

D委員 文化の香り高い読書のまちでしたら、市報の一面に市の職員さんや議員さんのおすすめの本のコーナーを毎月出されるとか。

B委員 自分が知らない本をおすすめの本として見るのは、楽しいですよね。

- 教育長 最近高校生がビブリオバトルをし始めたですね。これを議員さんがされるとか。
- B委員 白根先生の講演の時は参加者が少なかった。とてももったいなかったです。昨年のうちどくはP T Aの方に来ていただいて、動員をかけられて仕方なく来られたかと思いますが、言われないと来なかった、良かったという声もあった。それぐらい力を入れておすすめの本のコーナーとかをすれば良いのではと思います。老人会もいいと思います。今後お互いに地域で暮らしていく心の有りようなど。目上の方たちは少し図書館の敷居が高いようですので、時間があるときに気軽に行ける場所であるということを広めるのもいいと思います。
- D委員 老人会の方たちは地区ごとで定例会をされていて、会長さんたちが今月は何をしようかと悩まれていると聞きます。逆にこちらから老人会に出張して行って、大型絵本やプロジェクター等に絵本を写したりすれば、ご老人の方も絵本を楽しめるのではないかと思います。
- 教育長 老人会への出前講座のような形ですね。
- B委員 年度で地区を替えていくとかですね。
- 教育長 実際昨年のうちどくフェスティバルで、絵本などは歳をとってもやはり読んだ方がよいという根拠がでてきていますので、そういった部分もご意見をいただきながら、なかなか厳しい人員のなかでやっていかないといけないものですから。
- 会 長 それでは今までのご意見を整理していただいて、10月に向けて進めていただきたいと思います。
- A委員 すみません、お尋ねですが、手ぶらで来て本を借りた場合、貸出用のバッグとかはあるのですか。
- 事務局 だいたい皆さん、マイバッグを持って来られるのですが、お持ちでない方にはお声かけをして黄色の袋をお貸ししています。
- A委員 それでしたら良かったです。その袋があると返却も忘れないです。
- 会 長 あの黄色の袋は目立ちますね。
- E委員 先ほど黄色の袋の話があったのですが、巡回図書の際、園児が扱うので破れやすいです。新しいのは頂けますか。
- 事務局 5月に巡回図書が始まる際にいくらか予備を差し上げていますが、足りない時はどうぞ図書館にお声かけ下さい。追加でお渡しいたします。
- F委員 前回のくすのきしげのり先生の講演にP T A会長さんが参加されていて、それから自ら読み聞かせをされてのつながりなども子ども達に教えられていたり、すごく喜んでいらっしまったので、とても良かったと思います。動員でしたらもっと来てほしかったなと思いました。自分たちだけであるのが大変でしたら子どもを持つ年代の方とかは例えばマルシェ等別のイベントがある時に一緒にされたら参加も多いと思います。そこで絵本の紹介をされたり、直接そこで貸出をされたりするのもいいと思いました。
- 会 長 それでは、その他の項目ございませんでしょうか。
- ないようでしたら、3. 議題のすべてについて終わってよいでしょうか。

事務局 はい。貴重なご意見ありがとうございました。参考にさせていただきます。会を閉じます前に教育総務課の方から申し上げます。図書館協議会委員の皆様の任期が今年の3月31日で満了となります。これまで図書館の活動、読書活動にご支援いただきまして本当にありがとうございました。出来ましたら来年度からの任期もお願いできたらと思っております。どうぞ協力をよろしくお願いいたします。

それでは、これを持ちまして第2回嬉野市立図書館協議会を終わらせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。